

# 緑が丘

令和6年4月8日発行 三木市立緑が丘小学校



## 「自分できめる」「みんなときめる」学校

～今日も「学校が楽しかった」～

満開の桜の中、新学期が始まりました。  
子どもたちの登校を待っていてくれたかのように。



4月5日、始業式準備のために登校してきた6年生の準備や清掃に励む姿、そして4月8日の登校時の子どもたちの「おはようございます。」の声や顔から新しい学年、クラスで友だちや先生と頑張ろうという意気込みが伝わってきました。本年度、児童数309名でスタートします。

金子みすゞさんの「四月」という詩に

新しいご本、新しいかばんに。  
新しい葉っぱ、新しいえだに。  
新しいお日さま、新しい空に。  
新しい四月、うれしい四月。



と、あります。張り切っているひとりひとりの子どもたちの思いを大切に。「**今日も学校が楽しかった**」を実感できる学校創りに全教職員心ひとつに努めてまいります。

さて、本年度の教育活動の合言葉を「自分できめる」「みんなときめる」としました。

グローバル化、価値観の多様化等が恐ろしいスピードで進む子どもたちの将来を考えた時、大人も子どもも**当事者意識**をもって生活や学習に向き合うこと、指示待ちや自分の価値観だけではなく、互いの意見を聴き合い、みんなと決めていくことを大切にしていける経験が欠かせません。まず、自分の考えをもつこと、それをわかりやすく伝えること、友だちや周囲の人の声を聴き、折り合いをつけたり、新たな方法や価値を創りだしたりすることを楽しむこと、自分と違う意見や価値観を受け入れること……学校でできることはたくさんあります。みんなと決めていく経験を繰り返す中で、**みんなとつながる**良さが実感でき、安心して話せる仲間や居場所のある学校でありたいと思います。

今年度も保護者の皆様、関係機関等の皆様とともに「Open Share Team(オープン シェア チーム)」として前に進めていけることを願っております。

(最後に谷川俊太郎さんの「わたしがたねをまかなければ」の詩を掲載します。「幸小」を「緑が丘小」に変えて読んでみてください。)

(校長 佐野 順子)

### わたしがたねをまかなければ 谷川俊太郎

わたしが たねをまかなければ はなは ひらかない  
ぼくがあしを ふみだすとき みちは かぎりない  
じぶんで かんがえ じぶんで はじめる  
幸小(さいわい しょう)のわたしたち



ひとりが うたをうたいだすと こえは こだます  
ひとりひとり てをつないで ゆめは かぎりない  
みんなで なかよく ちからを あわせる  
幸小(さいわい しょう)のわたしたち



わたしが あすをあきらめたら あさは もうこない  
ぼくがほしを みつめるとき そらは かぎりない  
あせらず こつこつ ねばってやりぬく  
幸小(さいわい しょう)のわたしたち